

事業の展望

政府・日銀による金融財政政策の効果が現れ、長く続くデフレからの脱却には、なお多くの時間を要するとの見方が主流であり、需要の減少、低価格競争の継続、実質金利(表面金利から物価の変動を差引いた金利)の高止まり、遅れている中小規模事業先のバランス・シート改善、昨今の超円高による国内製造業の生産拠点の海外シフトの動き、等々地域企業にとっても、地域にとっても、金庫にとっても、楽観的なシナリオを描きづらい状況・心境にあります。この環境であるからこそ、「柔軟に、知恵を出し、汗を出し、今までとは違う思考行動(グローバルな視点)」で、町医者機能(再生と目利き)の腕を磨き、地域中小零細企業の再生と活力の向上に係ることこそが金庫の使命であることを再確認し事業活動を行っていきます。

地域貢献への取り組み

第24回 東京ビジネス・サミット2010への参加

日時：平成22年9月2日(木)、3日(金)

場所：東京ビッグサイト

参加企業：418社

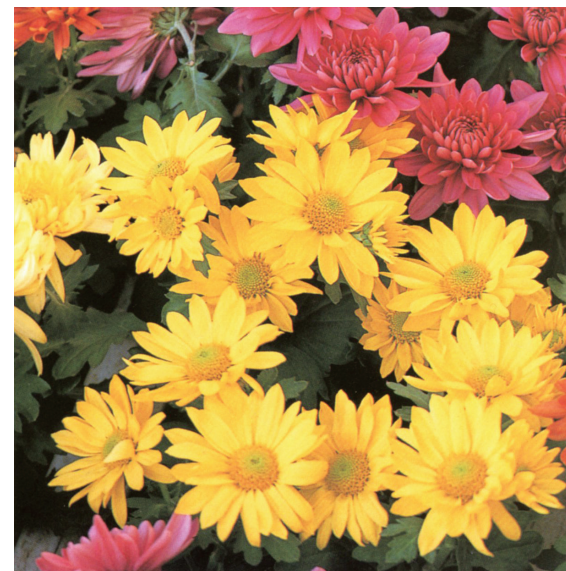
九州ひぜん信用金庫は、「佐賀・長崎ひぜん夢街道」として東京ビジネス・サミットに、武雄市役所 他7社の地域企業出展と金庫職員含む視察者86名を派遣し、地域産業の全国的アピールおよび商圏拡大を図るとともに、新ビジネスの発掘やビジネスマッチング等の支援を行いました。



九州ひぜん信用金庫ディスクロージャー誌 (平成22年9月末)

ひぜん経営レポート

2010・9・30



店舗一覧

本部	〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡8894番地	☎0954-23-1281
本店営業部	〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡8894番地	☎0954-23-1181
大町支店	〒849-2102 佐賀県杵島郡大町町大字福母381番地1	☎0952-82-3181
白石支店	〒849-1112 佐賀県杵島郡白石町大字福田1535番地1	☎0952-84-4181
嬉野支店	〒843-0301 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙553番地2	☎0954-42-0181
鹿島支店	〒849-1311 佐賀県鹿島市大字高津原4034番地3	☎0954-62-7181
宮野町支店	〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄7319番地	☎0954-23-2181
北方支店	〒849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎1095番地3	☎0954-36-5181
山内支店	〒849-2303 佐賀県武雄市山内町大字三崎甲13821番地1	☎0954-45-6181
佐世保営業部	〒857-0043 長崎県佐世保市天満町1番15号	☎0956-22-5181
本島支店	〒857-0871 長崎県佐世保市本島町1番6号	☎0956-24-5181
大宮支店	〒857-0841 長崎県佐世保市大宮町8番19号	☎0956-31-6126
俵町支店	〒857-0016 長崎県佐世保市俵町9番12号	☎0956-23-1101
大野支店	〒857-0136 長崎県佐世保市田原町10番12号	☎0956-49-3341
相浦支店	〒858-0918 長崎県佐世保市相浦町1615番地2	☎0956-47-3105
早岐支店	〒859-3215 長崎県佐世保市早岐2丁目3番17号	☎0956-38-3148
大村支店	〒856-0826 長崎県大村市東三城町5番地	☎0957-52-2141
竹松支店	〒856-0805 長崎県大村市竹松本町956番地1	☎0957-55-7144
諫早支店	〒854-0072 長崎県諫早市永昌町18番1号	☎0957-26-3556
西大村支店	〒856-0024 長崎県大村市諏訪1丁目604番地1	☎0957-52-4100

街に笑顔の花咲かせましょう
九州ひぜん信用金庫

<http://www.hizeshin.co.jp/>

街に笑顔の花咲かせましょう
九州ひぜん信用金庫

平成22年度上期事業の概況

事業方針

当金庫の経営理念①中小企業の健全な育成発展、②豊かな国民生活の実現、③地域社会繁栄への奉仕、のもと、経営方針として「透明性が高く、特色と存在感があり、お客さまの好感度と満足度を高める経営の実現」により「地域密着型金融の徹底(町医者機能の強化)とリスク資産を保有するに足る十分な資本の備え(健全性の向上)」を図ることを掲げ、「地域社会の持続的な繁栄に奉仕しうる信用金庫」を目指しています。

金融経済環境

九州・沖縄における景気判断としては、「雇用・所得面に厳しさを残しつつも、緩やかに回復している」。個人消費は、なお弱めの動きがみられる一方、持ち直しの動きも広がっており、全体として横這い圏内の動きとなっている。先行きについては、不透明感が残る中、振れを伴いつつも、海外経済の改善を主因に回復基調を続ける可能性が高い。ただし、新興国・資源国経済の国際金融資本市場の動向などには留意する必要がある。
(日銀：九州沖縄の金融経済概況2010年9月)

半期の業績

預金は、平成22年3月末から46百万円増加して118,415百万円となりました。

貸出金は、平成22年3月末から1,860百万円減少して73,290百万円とり、内訳的には、個人(住宅消費納税資金等)含めほぼ全ての事業先(卸売業・小売業を除く)で減少しています。

平成22年4月～9月の損益は、一般企業の売上げに当たる経常収益が1,433百万円、これから資金調達費用と経費等を差引いた、信用コスト控除前の業務損益220百万円を確保することができました。この業務損益を原資として、平成22年9月末を基準日とする自己査定に基づき一般・個別貸倒引当金48百万円と株式等時価のある有価証券のうち時価が大幅に下落している株式の償却83百万円、合計131百万円の不良債権処理を行い、その他期中退職者に係る退職費用を処理し、結果、経常利益46百万円となりました。

預金・貸出金の状況

<末残>	(単位：百万円) <参考>		
	平成 22 年 9 月末	平成 22 年 3 月末	平成 21 年 3 月末
預 金	118,415	118,369	117,780
貸 出 金	73,290	75,150	76,881

<平残>	(単位：百万円)	
	平成 22 年 9 月末	
預 金	118,951	
貸 出 金	73,889	

貸出金の内訳

	(単位：百万円) <参考>		
	平成 22 年 9 月末	平成 22 年 3 月末	平成 21 年 3 月末
製造業	2,913	3,220	3,436
農 業、林 業	161	165	150
漁 業	81	79	97
鉱 業	92	100	96
建設業	4,442	4,622	5,239
電気ガス熱供給水道業	22	20	26
情報通信業、運輸通信業	833	877	1,011
卸売業、小売業	7,566	7,469	8,066
金融業、保険業	259	256	366
不動産業	14,278	14,612	14,762
サービス業、その他	15,824	16,197	16,357
小 計	46,471	47,616	49,615
地方公共団体	5,922	6,169	4,609
個人(住宅消費納税資金等)	20,896	21,364	22,655
合 計	73,290	75,150	76,881

店舗及び常勤役員数(未残)

	(単位：百万円) <参考>	
	平成 22 年 9 月末	平成 21 年 9 月末
店舗数(期末)	19	19
常勤役員数(期末)	203	217
一店舗当たり預金量	6,232	6,205
職員一人当たり預金量	583	543

損益の状況

	(単位：百万円) <参考>	
	平成 22 年 9 月期	平成 21 年 9 月期
経常収益	1,433	583
業務収益	1,430	577
うち資金運用収益	1,283	459
臨時収益	3	6
経常費用	1,387	559
業務費用	1,220	538
うち資金調達費用	104	74
うち経費	973	412
うち一般貸倒引当金繰入	10	5
個別貸倒引当金繰入	38	19
貸出金償却	0	0
その他臨時費用	128	1
経常利益	46	23
業務粗利益	1,193	456
コア業務純益	159	44

[注記]

- 平成21年9月期の損益は、平成22年2月15日合併した存続金庫である旧杵島信用金庫の損益を計上しております。

金融再生法ベースの債務者区分による開示(単体)

自己査定	債務者区分	(単位：百万円) <参考>	
		平成 22 年 9 月末	平成 22 年 3 月末
破綻先 実質破綻先	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,874	3,907
破綻懸念先	危険債権	4,238	4,421
要注意先	要管理債権	640	353

[注記]

本表の金融再生法による開示は、貸出金及び債務保証等の貸出金以外も開示の対象となっております。

区分の説明

- 破綻更正債権及びこれらに準ずる債権とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権（以下、破綻更正債権等という）です。
- 危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には陥っていないが、財政状況及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権です。
- 要管理債権とは、自己査定において要注意先に区分された債務者に対する債権のうち、3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権に該当する債権をいいます。

単体自己資本比率(国内基準)

	(単位：百万円) <参考>	
	平成 22 年 9 月末	平成 22 年 3 月末
基本的項目の額	5,413	5,358
自己資本の額	6,153	6,087
リスク・アセット	63,854	64,353
基本的項目比率	8.47%	8.32%
単体自己資本比率	9.63%	9.45%

有価証券の時価情報

	(単位：百万円) <参考>							
	平成 22 年 9 月末		平成 22 年 3 月末					
	時価	評価差額	時価	評価差額				
その他有価証券	9,248	-80	337	418	1,331	-243	157	401
株式	160	-29	3	33	206	-66	6	73
債券	6,943	259	270	10	8,721	60	80	20
その他	2,144	-311	63	374	4,402	-237	69	307

[注記]

- 平成22年9月末の「評価差額」および「含み損益」は、平成22年9月末時点の帳簿価格（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。
- 譲渡性預金、コマーシャル・ペーパー、および貸付信託受益権等はありません。
- 子会社・関連会社株式はありません、なお満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりです。

	(単位：百万円) <参考>							
	平成 22 年 9 月末		平成 22 年 3 月末					
	帳簿価格	含み損益	帳簿価格	含み損益				
満期保有目的の債券	5,052	-70	99	170	4,219	-155	41	196